

各位

2023年7月吉日

平素は格別のご高配を賜りありがとうございます。

この度古川美術館では下記の展覧会を開催いたします。何卒ご取材いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

新風景の会
公益財団法人 古川知足会

新 第1回 風景の会 絵画展 東海を描く

会派を超えて活動し、自由と相互の芸術を尊重し、中部画壇に一大旋風を巻き起こした「風景の会」(活動期間1986～2020)。

その精神を次世代につなぐべく、「新風景の会」が立ち上がりました。

出品作家(50音順)

大島 幸夫
加藤 厚
加藤 勁
加藤 鉦次
加藤 茂外次
木村 光宏
斎藤 吾朗
菅沼 鉄王
鈴木 喜家
傍島 幹司
田内 公望
平井 誠一
松谷 慶子
山田 隆量

招待作家

浅野 秀和
岡田 眞治
尾中 真理
片岡 美鈴
加藤 哲男
小西 雅也
小林 雅英
榊原 康範
瀬永 能雅
竹内 恵利子
早瀬 玲
林 真
牧野 環
古田 年寿
柳瀬 雅夫
山本 秀樹

2023年9月8日[金] ▶ 10月1日[日]

古川美術館

〈中部画壇に令和の新風を！〉

それぞれの会派、または無所属で活動し、中部画壇を牽引する画家も招待作家として新たに加わり、自身の活動基盤である「東海」を描きます。

見どころ

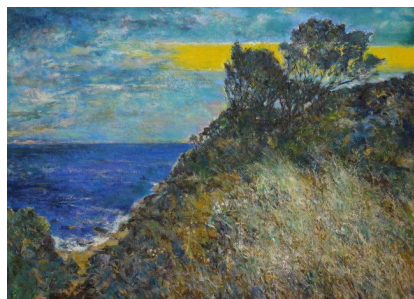
様々な表現・芸術が混とんと渦巻き、「これが芸術なの？」と目を驚かせる作品も多々見られる現代。

しかし〈新風景の会〉は「描く」という原点を大切にし、
「風景」に真正面から取り組みます。

芸術の根源を見失わずに、ひたすら描き出す。そこにこの会の魅力があります。



木村光宏「知多」



平井誠一
「太平洋ロングビーチに続く」



加藤鉦次「津島天王川祭VI」



田内公望「春の雪」

古川美術館と風景の会の関わり

2018年 風景の会30周年記念の展覧会を古川美術館で開催



←2019年
第34回風景の会絵画展の名古屋会場として
古川美術館で開催

2020年 集大成の第35回風景の会絵画展の
名古屋会場として古川美術館で開催→



風景の会とは・・・

1986年に当時の画壇の重鎮である3人の画家の平川敏夫・
上原欽二・加藤金一郎が、会派を超えて活動する団体を結成。「中部画壇に新風を」をキャッチ
フレーズに絵画展を開催し、毎年テーマを決めて風景を描き、夏の風物詩となった風景画家の団体。

展覧会概要

展覧会名 第1回新風景の会絵画展 東海を描く

会 期 2023年9月8日(金)～10月1日(日) 26日間

休館日 毎週月曜日 ※但し9月18日(月祝)は開館し翌19日(火)は休館

会 場 古川美術館 〒464-0066 名古屋市千種区池下町2-50

主 催 新風景の会

会場協力 古川美術館

後 援 中日新聞社、CBCテレビ、東海テレビ放送、中日文化センター

入館料 大人1000円、高大生500円、小中生は無料

広報画像



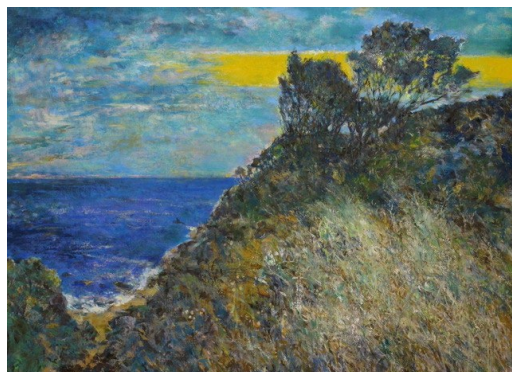
加藤鉦次「津島天王川祭VI」



木村光宏「知多」



田内公望「春の雪」



平井誠一「太平洋ロングビーチに続く」

連絡先

古川美術館 学芸課 早川祥子

名古屋市千種区池下町2-50

TEL 052-763-1991 s_asano@furukawa-museum.or.jp